

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 6月27日更新

事務事業名		合志市内保育士等研修助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	健康福祉部	課長名	中嶋 万喜
	施策	19 子どもを見守り、育てる地域づくり				所属課	子育て支援課	担当者名	松並 逸郎
	基本事業	57 子育てと仕事の両立支援				所属班	子ども保育班	(内線)	2315
予算科目		会計一般	款3	項2	目3	事業連番11448	法令根拠	児童福祉法、合志市保育の実施に関する条例、安心子ども基金管理運営	成果優先度評価結果：① コスト削減優先度評価結果：⑥
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内認可、認可外保育所、幼稚園の保育士等を対象に安心子ども基金を活用して保育士等への研修会開催費用の助成を行う。 ・保育士に対しての研修については、国は各自治体での保育士等研修を推進しているところである。 ・安心子ども基金で保育士等研修に該当する事業があり、平成20年度から3か年のみの事業であったが、平成23年度の事業継続となった。 ・ここしばらくは、認可保育所はもとより認可外保育所や幼稚園へのニーズは高いと考えられ、保育士等の質の向上は必要である。
【業務の流れ】	①補助金交付申請書(添付：状況報告書・事業計画書)の受付、審査②交付決定伺い③交付決定通知書④実績報告書(添付：事業実績調書)⑤補助金交付請求書⑥補助金支払(支出負担行為、支出命令書等)
【主な予算費目】	保育士会からの実施計画に基づき算出した負担金、補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・保育士会からは質の高い中央の講師を招聘しての講習会や研修会を実施したいとの要望がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
市内認可、認可外保育所、幼稚園の保育士等を対象に安心子ども基金を活用して保育士等への研修会開催費用の助成を行った。	市内認可、認可外保育所、幼稚園の保育士等を対象に安心子ども基金を活用して保育士等への研修会開催費用の助成を行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア：研修会に参加した保育士等数	人
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市内認可、認可外保育所、幼稚園の保育士等	(単位)
	→ア：市内認可、認可外、幼稚園の保育士等数
	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
保育士等の資質向上ができる	(単位)
	→ア：研修会参加率(研修会に参加した保育士等数/市内保育士等数)
	%
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠	
保育士の質の向上のための研修会開催であるため、対象の保育士等の研修会参加率とした。また、目標設定については保育士等全ての参加は難しいと考えるため90%と設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	28年度 見込	29年度 見込	
① 活動指標	ア	人	265	298	400	343	400	400	400	400	
	イ										
② 対象指標	ア	人	400	400	400	400	400	400	400	400	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	66.25	74.5	90	77.5	90	90	90	90	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	100	100	100	100	100	100	100	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	100	100	100	100	100	100	100	100
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	0	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	55	55	90	0	90	90	90	90
(B)人件費計		千円	222	223	366	0	366	366	366	366	
トータルコスト(A)+(B)		千円	422	423	566	200	566	566	566	566	

事務事業名	合志市内保育士等研修助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 市認可保育所保育士会が主体となり現場に沿った内容の研修会を開催している。市内認可保育所、市内幼稚園、市内認可外保育園の連携を図り、更に積極的な参加を呼びかける必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ・保育士等研修会であるため、市認可保育所保育士会が主体となり市内認可保育所はもとより、市内幼稚園、市内認可外にも積極的に呼びかけてもらうことにより更に達成度が上がる見込みがある。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ・保育士等研修会であるため、市内の認可保育所だけではなく、市内の幼稚園や認可外保育園にももっと積極的に参加呼びかけ、参加率の向上を図ることが必要である。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 保育士等の職員を対象にした研修のため、安心子ども基金事業が終了しても、保育士等の研修をバックアップする必要はある。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 保育士等の職員を対象にした研修のため、安心子ども基金事業が終了しても、保育士等の研修をバックアップする必要はある。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 現在は、保育士会が主体となり研修企画開催をしているため、最低必要な人件費での対応ができています。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 【市内の保育に関わる保育士等の研修であるため適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市内の保育に関わる保育士等の研修であるため適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

市内認可保育所の保育士会が主体となることにより、現場に必要な研修が企画でき、行政とのタイアップにより質の高い講師を招くことができ、人件費の削減にも貢献できた。研修においても多くの保育士等の方が参加され、充実したものになった。
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						